

さがみはら

発行 相模原市総務課市史編さん室

市史編さんだより 第11号

2003.3.10

市史編さん室の新しい事務室が完成



事務室外観

市史編さん室の新事務室が、市立博物館の隣接地に開設しました。建物は軽量鉄骨平屋建て、面積約 245 m²で、リース契約により設置されました。博物館とのバランスを配慮して、外観をベージュ系の色合いとした建物は、事務室をはじめ、会議室、資料保管庫・倉庫など、市史編さん業務を進めるうえで必要となる諸室を備えています。

平成 13 年 4 月に広さ 45 m²の博物館の小会議室に間借りする形でスタートした市史編さん室でしたが、これで市史編さん事業に向けた施設体制が整ったことになります。

狭い事務室で四苦八苦してきた職員一同は、まずは平成 16 年 11 月 20 日に刊行を予定している市史続編の第 1 巻目「現代図録編」の刊行に向けて気持ちを新たにしています。

(主幹 田所 哲男)



開所式であいさつする小川市長

出番を待つ3万枚 ～写真整理の現場から～

来年11月の現代図録編刊行に向けて、市史編さん室では今、写真の収集・整理作業を行っています。今回は、その写真整理について紹介します。

みなさんのご家庭では、写真の整理というと、アルバムに入れ、ちょっとした楽しいコメントをつけて出来上がり、かもしれませぬ。しかし、市史編さん室ではそうはいきませぬ。相模原の歴史を映す貴重な資料ですから、所蔵者や撮影者から撮影当時のお話をうかがったり、文献で調べたりしながらできるだけ正確な情報を得て、写真1枚につき1枚ずつカードを作成していきます。下に示したものは、相模原市広聴広報課から借用中の写真と、そのカードです。

写真整理の第一段階を担うのは、調査員や臨時主事補、アルバイトの資料整理員です。カードに正確な情報を記す努力はしていますが、整理者の生まれる前の写真であったり、整理者が市外在住であったりすると、不明な点もあります。それを補うために、続いて、職員や執筆者が写真を見て、さらに情報を加えていきます。

利用しやすく、かつ記入にかかる時間を短縮するために、独自の約束事も作っています。一見暗号が並んでいるように見えますが、1枚の写真についての情報がぎっしり詰まっているのです。最後にカードの裏面に写真の複写を貼ってカードは完成です。このカードを使い、写真の選定・編集作業を行うことにより、人の手に触れることで生じる原資料の劣化を最小限に防ぐこともできます。

カード作成済みの写真は現在約3万枚。これらの写真は、次に選定作業を迎えます。(調査員 小田原 漣)



No. C1-8170	
①	大山工業団地わきを走る列車 (相模線)
②	S42 頃
③	17 フォ
④	C1
⑤	

写真 大山工業団地わきを通る相模線 昭和42年ごろ

カード C1-8170

No.: 写真の撮影者—その撮影者における通し番号。このカードはC1=市広聴広報課の8170番目の写真。これが市史編さん室における資料番号となる。

①表題: 撮影場所や写っているものの説明。()内 執筆者が別筆した情報 ②撮影年代 ③写真の保管場所および形態(ネガ、プリント等): 17番目のアルバムにプリントがあることを示す。④所蔵者 ⑤備考

市史編さん室の新しいスタッフです

○吉田桃子(よしだ・ももこ)調査員 2月からお仕事させていただいております。遠距離通勤(埼玉県岩槻市在住)は大変ですが、相模原の歴史に興味を持ちつつあります。

○遠藤鉄平(えんどう・てっぺい)整理補助員 この仕事を通して、相模原の歴史を学ぶことができました。これからも仕事に積極的に取り組んでいきたいと思えます。

○須田冬香(すだ・ふゆか)整理補助員 新聞やその他の刊行物から相模原の歴史を知る機会に恵まれている毎日で、大変勉強になります。市史づくりのお役に立てるように頑張ります。

○福島多江(ふくしま・たえ)整理補助員 大学入学を機に相模原に住み始めて数年が経ちましたが、まだまだ未知の部分が多く、この仕事を通してもっと多くのことを知っていききたいと思えます。

○松下佳恵(まつした・よしえ)整理補助員 この仕事はとてもやりがいのあるおもしろい仕事だと思います。相模原の歴史や風習を新たに知るたびに、いつも新鮮な気持ちになります。

○山口喜久子(やまぐち・きくこ)臨時主事補 この相模原に生まれて育ち、30年以上経ちますが、まだまだ知らないことを日々痛感します。短い期間ですが、よろしくお願いたします。

前市史編集室の写真から 9

今回は昭和39年に相原の二国橋から町田市の七国峠を撮影した写真をご紹介します。下は境川が流れ、現在(右下の写真)も同じ橋が使われています。橋より先は砂利道で、当時の道路標識や「魚清」の看板を掲げた家屋が見えます。現在それらは無く、道路は舗装され、橋と同じ幅に拡張されています。

前市史では、平安時代に京への献納物として馬を送る際、「…多摩の横山の七国峠を越える。(中略)それから馬込にでて、現在の二国橋付近で境川を渡り…」と推定しており、古代からの輸送路であったと思われま

(主任 増島 亮子)





編さん室の動き (1月～2月)

月	日	内 容
1	7	上溝・今井宅へ資料調査 市史編さんだより第10号発行
	9	県立公文書館へ写真資料調査・収集
	16	横山・中村宅へ考古資料調査
	17	防衛研究所へ資料調査(2月6日にも実施)
	22	神史協研修(電気の資料館視察)へ参加
	23	文化国際課・高齢者福祉課へ資料収集
	30	広島市公文書館・倉敷市市史編さん担当へ視察調査(31日まで)
	31	古淵・細谷宅へ資料調査
2	4	県立歴史博物館へ資料調査
	7	埋蔵文化財整理室へ資料調査
	8	石器使用痕研究会に参加
	13	市内景観調査・写真撮影(27日にも実施) 編集委員会加藤委員と考古編の調査計画について打合せ
	14	NHKアーカイブスへ資料調査
	15	編集委員会岩野委員と自然編の調査計画について打合せ
	18	府中市郷土の森博物館へ考古特別展視察調査
	21	国文学研究所資料館史料館へ視察調査
	19	編集委員会町田委員と自然編の調査計画について打合せ
	21	現代図録編執筆者市内視察 文京ふるさと歴史館へ視察調査
	25	函館市市史編さん室へ視察調査 仙台市市史編さん室へ視察調査

「さがみはら市史編さんだより」第11号

発 行 平成15年3月10日

編 集 相模原市総務部総務課市史編さん室

〒229-0021 神奈川県相模原市高根3-1-19

T E L 042(750)8025 / F A X 042(750)8039

※所在地とFAX番号が変わりました